

和而拓（和して拓く）

週報第34号令和4年6月9日発行

2021年～2022年度 R. I. 会長テーマ



今月の一枚

横浜鶴見北ロータリークラブ
【事務局】横浜市鶴見区佃野町 18-11 エトワール鶴見 303号
TEL 045-575-1821 FAX 045-575-1822
Email ytnclub@gmail.com
HP <https://www.rotary-tsuruminorth.jp/>
【例会】毎週木曜日 12:30 場所 新横浜グレイスホテル

会長／長澤尚明 副会長／加藤進 幹事／簡伸治

第2317回 令和4年6月2日

斉 唱 「君が代」
「横浜鶴見北ロータリークラブの歌」
米山奨学生 グェントゥアンギアー君

会 長 報 告

皆様、こんにちは。五月晴れというのは今日の天気のことを言うのかと思うほど清々しい陽気です。まるで会長任期をもうすぐ終える私の心境のようです。と言いたい気持ち半分、なんかモヤモヤした気持ち半分です。今年度も残り1か月をきってしまいました。年を重ねる毎に1年が短く感じます。

ところで、大人になるほど毎年1年があつという間に感じるこの現象ですが皆様もご経験されたことがあるかと思います。理由は諸説あるのですがわかりやすい説としては「ジャンネの法則」が挙げられます。極端な例を挙げると50歳の人にとっての1年は50分の1、5歳の子供にとっての1年は5分の1。この二者の間で1年の重みが違うのは納得がいきます。歳を重ねるごとに1年が短く感じるようになっていくのは自然なことなのです。また、「ジャンネの法則」の他にも、生活に新鮮味がなくなるからという説もあります。子供の頃はまだ知らないことが多く、毎日のように新しい経験や発見があるでしょう。人は新しい体験をしている時は強く意識に残り、時間が長く感じるものです。慣れてしまえば逆に早く感じるようになります。ということは年々加速するこの感覚に我々は抗えないのでしょうか。大人になると新鮮味がなくなるだけでなく、同じことを繰り返す頻度も多くなります。仕事に行っては帰っての繰り返しが続くでしょう。しかし、当たり前の日々は「必要だから」当たり前の日々になっているとも捉えられます。大切な日々のルーティンに少し新

鮮な出来事を加えることで時間を長く感じる事ができ、幸福度が増すのではと考えられます。私達は年齢と共に「明日にしよう」、「明日やろう」という思いがどうしても強くなってしまいます。でもそれは、裏を返すと「うかうかしてはいられない」ということです。

今期も残り1ヶ月を切りましたが、まだまだ残された1ヶ月は「一日一新」の思いで過ごし、安堵の気持ちで最終例会を迎えたいと思います。

最後に本日は石渡会員と生方会員にイニシエーションスピーチをお願いしています。楽しみにしています。どうぞ宜しくお願い致します。

結婚記念日

簡 伸治 会員（6月27日）



入会記念日

鈴木元一郎 会員（昭和55年6月5日）

幹事報告

(1) ポールハリスソサエティ会員の皆様へ

2021-22年度ロータリー財団寄付のお礼とご協力お願いの件

寄付へのお礼と共に、コロナ禍による寄付額の減少、ウクライナへの人道支援のための災害急変基金への協力など、3年後の地区の財団活動資金確保の厳しさが伝わってきます。

本年度寄付の送金をいただいている方は6月17日(金)頃までにご送金いただけるようお願いいたします。

(2) ジョイセフ「思い出のランドセルギフト」活動へのご寄付のお礼

タリバンが政府の全権掌握した中、しっかりと活動を続けている様子がうかがえる報告書が届きました。タリバン政権下で、女性や少女の権利が抑圧されないことを祈りましょう。

(3) 6月16日(木) 年度末移動夜間例会の件

日時：2022年6月16日(木)18:30~20:30

場所：横浜ベイコート倶楽部

横浜市西区みなとみらい1丁目1-4

みなとみらい線「新高島」駅・「みなとみらい」駅より徒歩約8分

「横浜」駅よりタクシーで約6分

会費：会員10,000円 ご家族15,000円

(4) 一歩舎からお手紙が届きました

6月より3時退所とされたそうです。靴磨き再開できると良いですね。

ホテル駐車場ご利用について

ホテルからの案内です。なるべくロータリーのための駐車スペースを確保するためにコーンを設置します。ただし、ホテル入口の駐車場係が常駐していません。インターフォンで呼び出していただけたら、誘導いたします。との事です。

最初の方が呼び出せば、その後は落ち着くまで居てくださるそうです。ホテル駐車場が満車の場合、提携駐車場の案内もありますので、ご理

解ご協力よろしく申し上げます。5ナンバーサイズのお車はホテルのタワーパーキングに停められます。こちらもご活用ください。

米山奨学金贈呈



米山奨学生 グェントゥアンギアー君

委員会報告

【石渡宏衛会員】

・今年度慰労会、引継ぎ会について

出席報告

会員総数	30名
今回暫定	25 / 30 = 83.33%
前々回確定	22 / 30 = 73.33%

ニコニコBOX

(クラブ会員の為、敬称略)

長澤 尚明 気が付けば、今年度も残り一か月をきりました。正直なところ何か複雑な気持ちです。石渡さん、生方さん本日は卓話ありがとうございます。楽しみに拝聴させていただきます。来月からの新年度頑張ってください。

簡 伸治 本日は結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。石渡さん生方さんいよいよ新年度が始まりますね。頑張ってください。

赤塚 一志 石渡さん生方さんイニシエーションスピーチご苦勞様です。私事です。昨日、白内障手術が終わり退院しました。両眼手術が終わりだったのでこれからは人様の良い処だけが良く見えるようになると楽しみです。

上村 政二 石渡さん生方さん卓話ご苦勞様です。簡さん結婚記念日おめでとうございます。益々仲睦まじく。

上原 良廣 ラスト一か月ですね。気を抜かずに進んでください。

田川邦三郎 石渡会員、生方会員イニシエーションスピーチ再ご苦勞様です。心して拝聴させていただきます。

晝間 勝 石渡さん生方さん卓話ご苦勞様です。左ひざを痛め3週ほど休みました。「藤林会員を偲ぶ会」に出席できず残念に思います。ご冥福をお祈り申し上げます。

天野 直樹 石渡さん生方さん再、いいですね。お話楽しみにしています。今日は早めに来れるはずでしたが、まだ大丈夫と電話1本かけたのが命取

りでした。話に夢中になって時間を忘れるクセ直さない！

石渡 宏衛 本日イニシエーションスピーチ「再」させていただきます。

堀野 弘樹 再イニシエーションスピーチ石渡会長エレクト、生方次年度幹事ご苦勞様です。拝聴させていただきます。

仲亀 晃央 本日の卓話、石渡さん生方さんイニシエーションスピーチ宜しくお願い致します。

舟木 七郎 皆さんこんにちは。「イニシエーションスピーチ」石渡さん生方さんご苦勞様です。宜しくお願い致します。

祝 康一 石渡さん生方さん卓話、宜しくお願い致します。

今井新一郎 イニシエーションスピーチ拝聴いたします。だいぶ暑くなりました。

鈴木元一郎 石渡さん生方さん本日はご苦勞様です。入会記念日お祝い頂きありがとうございます。

以下同内容の為、御名前のみ(敬称略)

横山智司 田邊勝久 牧井秀賢 加藤進

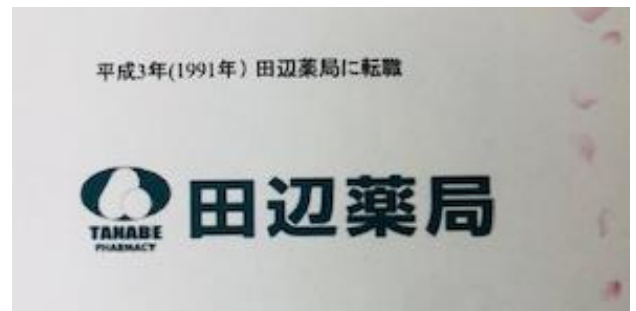
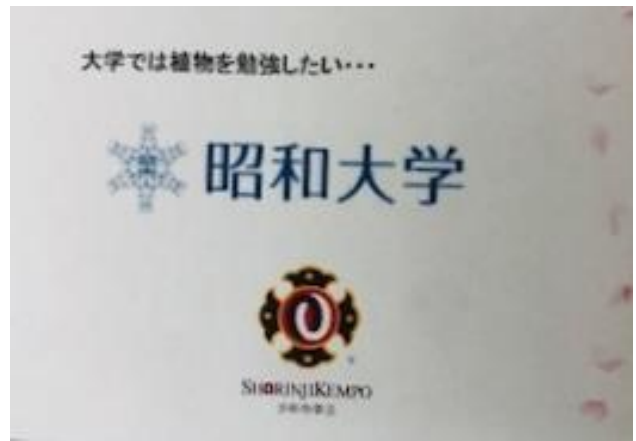
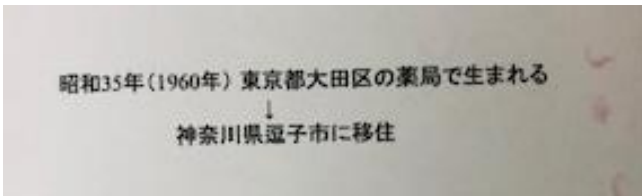
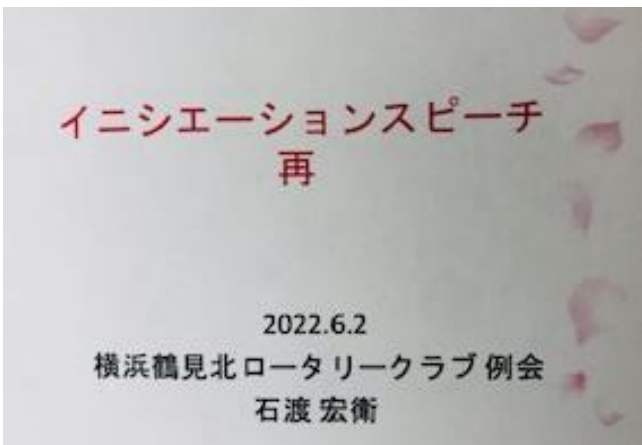
合谷保爾 渡辺直昭 宮田豊和 佐久間務

卓 話

「イニシエーションスピーチ 再」



石渡 宏衛会員





生方 常明会員

次年度幹事の生方常明です。

妻と姉（18・公文国際学園高校3年生）妹（12・神奈川大学附属中学1年生）と猫2匹とで天王院の庫裡の2階にいらしています。

自動車はオペルの1996年式カリブラと2006年式アストラ。

趣味は本の収集で、とくに世界史の全集物を集めています。

司馬遼太郎と池波正太郎を読みますが藤沢周平は肌にあいません。あとは塩野七生と海老沢泰久、アイザック・アシモフとシャーロック・ホームズとブラウン神父。

漫画とアニメも嗜みます。漫画は荒木飛呂彦の『JoJoの奇妙な冒険』と浦沢直樹の『マスター・キートン』。『宇宙戦艦ヤマト』よりは『機動戦士ガンダム』で、『風の谷のナウシカ』は映画より漫画のほうが好きです。オタク第一世代です。

1967年 東京都江東区（出生は中央区聖路加病院）で生まれる。出生名は「次山和明」。昭和5年生まれと昭和8年生まれと母親という戦中派の両親に育てられた。以降28歳で鶴見に転居するまで、東京都江東区門前仲町界隈でくらす。父親は深川生まれ深川育ちの東京大空襲の生き残りであるため、政治絡みの見解は父親の影響を受けている。反戦主義者ながら人類の宿痾である戦争を観察・考察することが好き。

1985年3月 私立麻布学園中学・高等学校卒業

1991年3月 国立埼玉大学教養学部（哲学思想コース）卒業

卒業論文は『啓蒙思想にみる国家像〜カント《永遠平和のために》とクラウゼヴィッツ《戦争論》の比較』というタイトルで、キューバ危機のケネディ政権の政策決定を論じた『決定の本質』を下敷きに、国家の行為を考えるとときには合理的に行動する個人に置き換えてみるのが一般的だが、実際のところは機械的に国家は行為をしたり組織間の協調や反発の結果が国家の行為となるなど、必ずしも合理的に行動するわけではない、と論じた。

1991年4月 センチュリリサーチセンター（現・伊藤忠テクノソリューションズ）就職

1994年3月 同社退職

当時は、コンピュータを用いた受発注システムの黎明期であって、これに先行しているセブンイレブンとヤマト運輸に小売業・流通業がシステム化を急いでいた時代であり、汎用機とCOBOLを用いたソフト業界は人手不足であった。

この会社では、顧客先に赴いての要求定義作業という最上流行程から実際のプログラミング（流通系のバジ処理だけでなく学校法人の生徒成績管理データベース作成など）をはじめ実店舗でのトラブルシューティングまで、ひと通りの開発業務を行なった。僧侶にならなかつたら、この会社の開発部門を離れて営業部門で働いていたに違いない。

1995年1月 宗教法人天王院就職

実家の母親が天王院の生方忠常師の妻の妹という縁（つまり常明は外甥）で得度という儀式は済ませていたので、適当な年代の跡継ぎがないやら師匠の身体の具合が思わしくないやらで、天王院に（就職）することになった。

家庭裁判所にて「生方常明」の改姓名の審判申立を行なった際、申立書に「僧職神職になるため」という項目が印刷されており、そういうものなのかと。

1995年4月 私立大正大学人間学部仏教学科（天台学コース）編入

1996年7月 比叡山にて四度加行など。

1997年3月 私立大正大学人間学部仏教学科(天台学コース)卒業

1997年4月 私立大正大学大学院修士課程(天台学専攻)入学

2000年3月 私立大正大学大学院修士課程(天台学専攻)修了

僧侶の世界は学歴と年功序列の世界であり、寺格というものに対応した僧侶の階級も必要となるため、階級取得のために学士編入と修士課程進学を行なった。

大正大学では4年の夏休みに延暦寺で修業を行っていたため卒業論文にかける時間があまりなかったため、埼玉大学での卒業論文を基本にして『仏教における国家像～浄仏国土という』というタイトルで社会科学的な国家像と仏教的哲学的な意味での国家像との比較を行ない、また修士課程では「教学に関する論文を書きなさい」との指導のもと、会津の徳一菩薩と伝教大師最澄との「三一権実論争」における具体的な論の応酬のひとつを取り上げて歴史的背景・仏教における議論に関する論評を行なった。

2003年8月 代表役員・住職に就任。

2006年2月 横浜鶴見北ロータリークラブ入会
そして現在にいたる。

例 会 予 定

6月16日(木) 横浜ベイコート倶楽部
～夜間例会～

6月23日(木) 新横浜グレイスホテル
「離任挨拶」

6月30日(木) 新横浜グレイスホテル
「離任挨拶」

7月 7日(木) 新横浜グレイスホテル
「就任挨拶」

7月14日(木) 新横浜グレイスホテル
ガバナー公式訪問